



平成 21 年 5 月 11 日

各 位

会社名 株式会社岡村製作所
代表者名 代表取締役社長 久松 一良
(コード番号 7994 東証 1 部 大証 1 部)
問合せ先 取締役企画本部長土志田貞一
電話番号 045-319-3445

中期経営計画について

当企業グループは、「情報化」「国際化」「専門化」を企業経営のキーワードに安定的経営基盤の構築、利益重視の効率的経営の実践、環境への配慮をはじめとする社会との信頼関係の向上を基本方針として経営活動を展開しております。

昨年度の業績および現在の非常に厳しい経済状況などを勘案し、2011 年 3 月期を最終年度とする「中期経営計画」を策定いたしましたので、お知らせ致します。

1. 中期経営計画の目標

2009 年度の経済見通しは 2 年連続のマイナス成長が予想されるなど、当社の経営を取り巻く現下の経済環境は、非常に厳しい状況であります。そのような中、当社は、材料費や販売管理費の削減などのコストダウン対策を強力に推進し、増益を目指します。また、事業領域の拡大を図り、当面の売上高の確保を行うとともに、将来の発展の基盤作りに務めます。

本計画最終年度には、売上高営業利益率 3.8%、売上高経常利益率 4.2%の達成を目指して参ります。

経営目標値(連結)

	2010 年 3 月期	2011 年 3 月期
売上高	1,870 億円	1,970 億円
営業利益	54 億円	75 億円
経常利益	62 億円	83 億円
当期利益	35 億円	47 億円
株主資本利益率 (ROE)	4.5%	6.0%
総資本利益率 (ROA)	3.7%	4.8%

2. 中期経営目標達成のための基本戦略

(1) 損益分岐点の引き下げ

製造コストでは、材料費のダウン及び OPS による生産性向上策などの推進、販売管理費では、間接部門の人員削減・経費の全面的見直しなどの改善対策を展開し、売上高損益分岐点比率を引き下げ、営業利益の増加を図ります。

(2) オフィス環境事業

民間オフィス需要が低迷する中、引き続きクリエイティブオフィスの提案やファシリティコストの効率化及び統合移転需要に対応する提案をさらに強化いたします。また、安定的に需要が発生すると期待される、官公庁・教育分野などの投資案件に対し、専任体制を拡充するなど体制強化を図ります。

なお、東京都心部の大型再開発案件に対しては、強固な営業基盤を活かし、大きなシェアを確保する見込みです。

(3) 商環境事業

流通業における事業環境は、消費の低迷により、今後も厳しい状況が続くものと予測されます。このような中、当社は、セック(株)を完全子会社化し、保守・サービス分野へと事業領域を拡大してまいります。

また、拡大する専門店市場では、欧州大手什器メーカー「Visplay」社との提携により、内装分野への売上拡大を図ります。合わせて、薬事法の改正施行・環境対策の強化など、流通業を取り巻く変化にも迅速に対応し、売上増大とともに、利益率の向上に引き続き取り組みます。

(4) 物流機器事業他

民間設備投資の落ち込みにより、この分野でも事業環境は、引き続き厳しいことが予想されます。このような中、当社が得意とする、物流センターでの小物の保管・仕分分野での提案活動を強化し、売上拡大を図ります。また、子会社シーダー(株)の特長を生かしたクリーンルーム向けコンベアシステムについても、引き合いが活発な太陽光発電製造設備を中心として、拡販を図ります。

(5) 海外事業

全世界的な景気変動により、海外事業の売上は横ばい状況になっておりますが、昨年新たに販売拠点を開設したドバイを中心とした中東、あるいは、新規に契約締結を行ったロシアやブラジルなどの新興国向け売上はこのような状況でも増加を示しております。本年6月には米国シカゴで開催される Neocon2009 に新製品「レオパード」を出展し、最大の需要国である米国での売上回復を図ります。あわせて、中国市場については、日系流通業の出店に対応する体制を強化し、売上・利益の確保を図ります。

以上

(ご参考)

セグメント別売上高 (連結)

	2010年3月期	2011年3月期
オフィス環境事業	1,055億円	1,110億円
商環境事業	690億円	725億円
物流機器事業他	125億円	135億円
合 計	1,870億円	1,970億円